イスラームの英雄

第 18 巻

クタイバ・ブン・ムスリム

シルクロードのマー・ワラー・アンナフルを開いた人 — クルアーン、真正なハディース、歴史書に基づいて



Hj Che Alim Hj Che Haron
AK (Kelantan)
quranscience.my

© 2026 年 / 1448 AH Hj Che Alim Hj Che Haron AK (Kelantan) • quranscience.my • @QuranScienceMY
この電子書籍はムスリムのための無料版です — 販売禁止。

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَٰنِ الرَّحِيمِ

イスラームの英雄

第 18 巻

クタイバ・ブン・ムスリム

シルクロードのマー・ワラー・アンナフルを開いた人 — クルアーン、真正なハディース、歴史書に基づいて

يَٰٓأَيُّهَا ٱلَّذِينَ ءَامَنُواْ كُونُواْ قَوَّٰمِينَ لِلَّهِ شُهَدَآءَ بِٱلْقِسْطِۖ وَلَا يَجْرِمَنَّكُمْ شَنَـَٔانُ قَوْمٍ عَلَىٰٓ أَلَّا تَعْدِلُواْۚ ٱعْدِلُواْ هُوَ أَقْرَبُ لِلتَّقْوَىٰۖ وَٱتَّقُواْ ٱللَّهَۚ إِنَّ ٱللَّهَ خَبِيرُۢ بِمَا تَعْمَلُونَ ٨

「あなたがた信仰する者よ，アッラーのために堅固に立つ者として，正義に基いた証人であれ。人びとを憎悪するあまり，あなたがたは（仲間にも敵にも）正義に反してはならない。正義を行いなさい。それは最も篤信に近いのである。アッラーを畏れなさい。アッラーはあなたがたの行うことを熟知なされる。」

食卓章 5:8

HJ CHE ALIM HJ CHE HARON

quranscience.my | @QuranScienceMY

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の電子書籍。販売禁止。

謝辞

嫌う相手に対してさえ公正であるよう私たちに命じられたアッラーに讃えあれ。私たちの主、預言者ムハンマド ﷺ と、その家族と教友たち、そして善をもってその道に従った人々、とりわけマー・ワラー・アンナフルを開いたクタイバ・ブン・ムスリムに祝福と平安あれ。

この電子書籍を、最愛の妻

ザハラ・モハマド・ラティフ；

愛する子どもたち、

ムハンマド・ハフィズ、ヌール・ハズワニ、アブドゥル・ハキム、ヌール・ヒダヤ、ノル・アキラ、ノル・アティカ；

そして義理の子どもたち、

ファジラ、マレク、ハニン、ファイリザル、フィルワンに捧げます。

『イスラームの英雄』第 18 巻は、クタイバ・ブン・ムスリム・バーヒリーの生涯を語ります。ブハラ、ホラズム、サマルカンド、フェルガナを開き、シルクロードの町々にモスクを建てたホラーサーン総督――しかし、いくつかの行いを批判され、最後は反乱の末に殺された人物です。サマルカンドの人々がウマル・ブン・アブドゥルアズィーズに訴えた出来事も含め、その物語は典拠について正直に語られています。この知識が「役に立つ知識（イルムン・ユンタファウ・ビヒ）」となりますように。

この電子書籍の表紙について

この電子書籍の表紙には、人間や動物は描かれていません。描かれているのは日の出の中央アジアの***オクサス川（アム川）***で、水面には朝霧がかかり、川岸にはポプラの木々、遠くには雪をいただく***パミール高原の山々***が見えます。

川の向こう岸には、シルクロードの町の***日干しれんがの城壁、丸い塔、城門***――ブハラやサマルカンドを思い起こさせます――があり、その隣には建設中の***モスクの柱***が立っています。ヒジュラ暦 94 年にクタイバがブハラに建てた金曜モスクの象徴です。

手前には、川岸の石の上に鎖かたびら付きの***鉄の兜***、***弓と矢***、***赤い封蠟で封じた条約の巻物***、そして***たたんだ絹の布***が置かれています。マー・ワラー・アンナフルの開放、サマルカンドの和平条約、そしてシルクロードの象徴です。桟橋の小舟は、オクサス川の渡河を思い起こさせます。

下部の***濃紺の帯***は***細い金色の線***で縁取られ、著者名が記されています。『イスラームの英雄』のすべての表紙をそろえるため、第1巻から第17巻と同じデザインです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

目次

クタイバ・ブン・ムスリム — *はじめに*

1. クタイバ・ブン・ムスリムとは誰か — *歴史書と伝記*

2. バーヒラ族——敬虔さによる尊さ — *部屋章 49:13*

3. メルヴのホラーサーン総督 — *タバリー『諸使徒と諸王の歴史』；『サヒーフ・ブハーリー』1423*

4. 戦いの前の呼びかけ — *『サヒーフ・ブハーリー』2942*

5. トハーリスターン、バルフとニーザクの話 — *タバリー『諸使徒と諸王の歴史』*

6. パイカンドとブハラ — *タバリー『諸使徒と諸王の歴史』；ナルシャヒー『ブハラ史』*

7. ブハラのモスクとイスラームの教え — *ナルシャヒー『ブハラ史』；『サヒーフ・ブハーリー』450*

8. ホラズム — *タバリー『諸使徒と諸王の歴史』*

9. サマルカンドとグーラクとの条約 — *タバリー『諸使徒と諸王の歴史』；戦利品章 8:61*

10. 焼かれたサマルカンドの偶像 — *タバリー『諸使徒と諸王の歴史』*

11. 約束を守ること — *『サヒーフ・ブハーリー』34；蜜蜂章 16:91*

12. シャーシュとフェルガナ — *タバリー『諸使徒と諸王の歴史』*

13. カシュガルまで、そして中国への使節 — *典拠の検討*

14. フェルガナでの反乱と死 — *タバリー『諸使徒と諸王の歴史』；『サヒーフ・ブハーリー』7054*

15. ウマル・ブン・アブドゥルアズィーズへのサマルカンドの訴え — *バラーズリー『諸国征服史』；食卓章 5:8；『サヒーフ・ムスリム』1827*

16. 遺産——ブハーリーとティルミズィーの地 — *まとめ*

17. クタイバの物語の典拠 — *表*

18. 人物・場所・年表 — *表*

19. クタイバ・ブン・ムスリムについてのよくある質問 — *12 の質問*

20. 教訓と結び

参考文献

支援と寄付

色の見方：緑の枠 = クルアーンの節；金色の枠 = ハディース；茶色の枠 = スィーラの注（スィーラ書の伝承）；青い表 = 比較。青い下線の伝承者名をクリックすると、sunnah.com の伝承者のページが開く。

クタイバ・ブン・ムスリム

『サヒーフ・ブハーリー』を開くたびに、私たちは*ブハラ*の町出身のイマームの著作を読んでいます。ティルミズィーの『スナン』の名を挙げるたびに、オクサス川のほとりの町*ティルミズ*の名を口にしています。これらの町は中央アジアにあります――アラブ人が*マー・クラー・アンナフル*、「川の向こうの地」と呼んだ地域です。イスラームはどのようにしてそこに届いたのでしょうか。

その答えの大部分は、バーヒラ族出身の一人の指揮官です。*クタイバ・ブン・ムスリム・バーヒリー*。ホラーサーン総督として（ヒジュラ暦 86–96 年／西暦 705–715 年）、彼はブハラ、ホラズム、サマルカンド、シャーシュ（タシケント）、フェルガナを開き、シルクロードの町々にモスクを建てました。しかしその生涯は過ちと無縁ではありません。いくつかの行いを批判され、最後は新しいカリフに背いた末に殺されました。

この電子書籍は『*イスラームの英雄*』シリーズの第 18 巻です。クタイバの物語は歴史書、とくにタバリーの『歴史』、バラーズリーの『諸国征服史』、ナルシャヒーの『ブハラ史』に由来します。そのため、すべての物語の典拠と等級を正直に示し――伝説の混じった中国への使節の話も含めて――その教訓はクルアーンと真正なハディースに基づいています。

クタイバの物語は、イスラーム史で最も有名な公正の出来事の一つにも私たちを導きます。サマルカンドの人々がカリフ、ウマル・ブン・アブドゥルアズィーズに訴え、ムスリムの裁判官が彼らに有利な判決を下した出来事です。

クタイバ・ブン・ムスリムとは誰か

彼の正式な名は*クタイバ・ブン・ムスリム・ブン・アムル・バーヒリー*で、*バーヒラ族*の出身です。ヒジュラ暦 49 年（西暦 669 年）ごろに生まれ、イラクで育ちました。父ムスリム・ブン・アムルは、ムスアブ・ブン・ズバイルの時代の内戦で殺された名士でした。

クタイバは、ウマイヤ朝の東方諸州の総督ハッジャージュ・ブン・ユースフのもとで経歴を始めました。ライの総督を務めた後、ヒジュラ暦 86 年、およそ 37 歳でホラーサーンに任命されました。

名前と称号

名前・称号	説明
クタイバ・ブン・ムスリム	本名
バーヒリー	バーヒラ族の出身
アブー・ハフス	クンヤ（呼び名）
ファーティフ・マー・ワラー・アンナフル	中央アジア（今日のウズベキスタン、タジキスタンとその周辺）を開いた人

教訓

出自や部族は成功の物差しではありません。見下されていた部族の一人の男が、歴史の地図を変えることができるのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

バーヒラ族——敬虔さによる尊さ

当時のアラブ社会では、バーヒラ族はしばしば見下され、詩人たちのからかいの的となっていました。アダブ（教養）の書には、ある人がバーヒラ族の者となって楽園に入りたいかと尋ねられたという話があります——人々がその部族をいかに低く見ていたかを示す皮肉です。

しかし、まさにこの部族から広大な地を開いた指揮官が現れました。クルアーンは、尊さの物差しは血筋ではなく敬虔さであると教えています。

部屋章 49:13

يَٰٓأَيُّهَا ٱلنَّاسُ إِنَّا خَلَقۡنَٰكُم مِّن ذَكَرٖ وَأُنثَىٰ وَجَعَلۡنَٰكُمۡ شُعُوبٗا وَقَبَآئِلَ لِتَعَارَفُوٓاْۚ إِنَّ أَكۡرَمَكُمۡ عِندَ ٱللَّهِ أَتۡقَىٰكُمۡۚ إِنَّ ٱللَّهَ عَلِيمٌ خَبِيرٞ ١٣

人びとよ，われは一人の男と一人の女からあなたがたを創り，種族と部族に分けた。これはあなたがたを，互いに知り合うようにさせるためである。アッラーの御許で最も貴い者は，あなたがたの中最も主を畏れる者である。本当にアッラーは，全知にして凡ゆることに通暁なされる 。

訳：三田了一 — quran.com/49:13

教訓

血筋を理由に人をあざけることは、ジャーヒリーヤ（無明時代）の名残です。アッラーは部族の名ではなく、心と行いを量られます。

メルヴのホラーサーン総督

歴史の注：東の果ての州

ヒジュラ暦 86 年（西暦 705 年）、ハッジャージュはクタイバを、*メルヴ*（今日のトルクメニスタン）を州都とする広大な東方の州*ホラーサーン*の総督に任じました。オクサス川（アム川）の向こうには、しばしばテュルク人と同盟したソグド、ブハラ、ホラズム、フェルガナといった小王国がありました。

タバリーによれば、クタイバはメルヴに着くと軍に演説してジハードを呼びかけました。それからホラーサーンの軍を再編し、川の向こうへの毎年の遠征を始めました。

*伝承の等級：*タバリーの『歴史』などの歴史書に、ハディース学者の基準による真正な伝承経路なしで伝えられています。物語はよく知られ、歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

タバリー『諸使徒と諸王の歴史』；イブン・アル＝アスィール『完史』。

総督の職は大きな預かりものです。アッラーの使徒 ﷺ は、アッラーの陰に入る人々の最初に公正な指導者を挙げられました。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 1423 番

حَدَّثَنَا مُسَدَّدٌ، حَدَّثَنَا يَحْيَى، عَنْ عُبَيْدِ اللَّهِ، قَالَ حَدَّثَنِي خُبَيْبُ بْنُ عَبْدِ الرَّحْمَنِ، عَنْ حَفْصِ بْنِ عَاصِمٍ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ ـ رضى الله عنه ـ عَنِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم قَالَ " سَبْعَةٌ يُظِلُّهُمُ اللَّهُ تَعَالَى فِي ظِلِّهِ يَوْمَ لاَ ظِلَّ إِلاَّ ظِلُّهُ إِمَامٌ عَدْلٌ، وَشَابٌّ نَشَأَ فِي عِبَادَةِ اللَّهِ، وَرَجُلٌ قَلْبُهُ مُعَلَّقٌ فِي الْمَسَاجِدِ، وَرَجُلاَنِ تَحَابَّا فِي اللَّهِ اجْتَمَعَا عَلَيْهِ وَتَفَرَّقَا عَلَيْهِ، وَرَجُلٌ دَعَتْهُ امْرَأَةٌ ذَاتُ مَنْصِبٍ وَجَمَالٍ فَقَالَ إِنِّي أَخَافُ اللَّهَ، وَرَجُلٌ تَصَدَّقَ بِصَدَقَةٍ فَأَخْفَاهَا حَتَّى لاَ تَعْلَمَ شِمَالُهُ مَا تُنْفِقُ يَمِينُهُ، وَرَجُلٌ ذَكَرَ اللَّهَ خَالِيًا فَفَاضَتْ عَيْنَاهُ ".

訳：

アブー・フライラによると、預言者 ﷺ はこう言われました。 ***「アッラーご自身の陰のほかに陰のない日に、アッラーがその陰に入れてくださる七種の人々がいる。公正な指導者***、アッラーへの崇拝の中で育った若者、心がモスクに結びついている人、アッラーのために愛し合い、そのために集い、そのために別れる二人、身分と美しさのある女性に誘われて『私はアッラーを畏れる』と言う人、右手が施したものを左手が知らないほどひそかに施す人、そして独りでアッラーを念じて涙を流す人である。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムサッダド・ブン・ムサルハド ← ヤフヤー・ブン・サイード・カッターン ← ウバイドゥッラー・ブン・ウマル ← フバイブ・ブン・アブドゥッラフマーン ← ハフス・ブン・アースィム ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ザカートの書、第 1423 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:1423

教訓

権力は単なる名誉ではなく試練です。公正な指導者にはアッラーの陰が約束され、不正な指導者は責任を問われます。

戦いの前の呼びかけ

イスラームにおいて戦いは目的ではありません。戦う前に、ムスリムは敵をイスラームか和平へ招くよう命じられています。歴史書は、マー・ワラー・アンナフルの多くの町が戦わずにクタイバと和平条約（スルフ）を結び、その条約が守られたことを記しています。

この原則は、ハイバルの日にアッラーの使徒 ﷺ がアリー・ブン・アビー・ターリブに語られた言葉に由来します。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 2942 番

حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ مَسْلَمَةَ الْقَعْنَبِيُّ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الْعَزِيزِ بْنُ أَبِي حَازِمٍ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ سَهْلِ بْنِ سَعْدٍ ـ رضى الله عنه ـ سَمِعَ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ يَوْمَ خَيْبَرَ " لأُعْطِيَنَّ الرَّايَةَ رَجُلاً يَفْتَحُ اللَّهُ عَلَى يَدَيْهِ ". فَقَامُوا يَرْجُونَ لِذَلِكَ أَيُّهُمْ يُعْطَى، فَغَدَوْا وَكُلُّهُمْ يَرْجُو أَنْ يُعْطَى فَقَالَ " أَيْنَ عَلِيٌّ ". فَقِيلَ يَشْتَكِي عَيْنَيْهِ، فَأَمَرَ فَدُعِيَ لَهُ، فَبَصَقَ فِي عَيْنَيْهِ، فَبَرَأَ مَكَانَهُ حَتَّى كَأَنَّهُ لَمْ يَكُنْ بِهِ شَيْءٌ فَقَالَ نُقَاتِلُهُمْ حَتَّى يَكُونُوا مِثْلَنَا. فَقَالَ " عَلَى رِسْلِكَ حَتَّى تَنْزِلَ بِسَاحَتِهِمْ، ثُمَّ ادْعُهُمْ إِلَى الإِسْلاَمِ، وَأَخْبِرْهُمْ بِمَا يَجِبُ عَلَيْهِمْ، فَوَاللَّهِ لأَنْ يُهْدَى بِكَ رَجُلٌ وَاحِدٌ خَيْرٌ لَكَ مِنْ حُمْرِ النَّعَمِ ".

訳：

サフル・ブン・サアドは、預言者 ﷺ がハイバルの日にこう言われるのを聞きました。「アッラーがその手によって勝利をもたらされる人に、私はこの旗を授けよう。」人々は自分に授けられることを望んで立ち上がり、翌朝には皆が授けられることを望んでいました。預言者は「アリーはどこか」と尋ねられました。両目を患っていると言われると、彼を呼ぶよう命じ、その目に唾をつけられると、彼はまるで病がなかったかのようにたちまち癒えました。アリーは言いました。「彼らが私たちのようになるまで戦うのですか。」預言者は言われました。*「落ち着いて進み、彼らの地に着いたら、彼らをイスラームへ招き、彼らに課される務めを告げなさい。アッラーにかけて、アッラーがあ*

なたを通して一人の人を導かれることは、あなたにとって赤いラクダよりも良いのだ。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブドゥッラー・ブン・マスラマ・カアナビー ← アブドゥルアズィーズ・ブン・アビー・ハーズィム ← アブー・ハーズィム・サラマ・ブン・ディーナール ← サフル・ブン・サアド رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ジハードと遠征の書、第 2942 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:2942

このハディースは、何年も後にサマルカンドで起こる大きな出来事の基礎でもあります（第 15 章参照）。

教訓

呼びかけ（ダアワ）の目的は勝利ではなく導きです。導かれた一人の人は、最も高価な財産よりも価値があります。

トハーリスターン、バルフとニーザクの話

歴史の注：最初の遠征

最初の年（ヒジュラ暦 86 年）、クタイバは***トハーリスターン***に渡り、バードギースの支配者***ニーザク・タルハーン***を含む地元の支配者たちの服従を受けました。ニーザクはその後、いくつかの遠征でクタイバに同行しました。

ヒジュラ暦 91 年、ニーザクは反乱を起こし、トハーリスターンの王たちを集めました。タバリーによれば、彼はクタイバの使者から安全保障（アマーン）を与えられて最終的に降伏しましたが、クタイバはハッジャージュの命令で彼を処刑しました。同時代の一部の人々は、これを安全保障への裏切りだと批判しました。

伝承の等級： タバリーの『歴史』などの歴史書に、ハディース学者の基準による真正な伝承経路なしで伝えられています。物語はよく知られ、歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

タバリー『諸使徒と諸王の歴史』；イブン・アル＝アスィール『完史』。

私たちはこの出来事を隠しません。イスラームの英雄たちも人間であり、歴史への誠実さは、彼らの美徳と過ちの両方を語ることを求めます。第 11 章で述べるように、イスラームは約束を守ることを非常に重んじています。

教訓

尊敬する人の過ちを認めることは、その人を貶めるのではなく、真理を尊ぶことです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

パイカンドとブハラ

歴史の注：四年間の遠征

ヒジュラ暦87年、クタイバはブハラ近郊の豊かな商人の町***パイカンド***を包囲して開きました。***ブハラ***への遠征は、住民がソグド人とテュルク人に支援されていたため、数年（ヒジュラ暦87–90年）続きました。

ヒジュラ暦90年、ブハラはついに開かれました。クタイバは地元の支配者***トゥグシャーダ***をムスリムの保護のもとでブハール・フダー（ブハラの王）として留めました。ナルシャヒーは、トゥグシャーダが後にイスラームに入ったと記しています。

伝承の等級： タバリーの『歴史』などの歴史書に、ハディース学者の基準による真正な伝承経路なしで伝えられています。物語はよく知られ、歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

タバリー『諸使徒と諸王の歴史』；ナルシャヒー『ブハラ史』。

教訓

長い努力における忍耐は実を結びます。ブハラは一日で開かれたのではなく、何年もの粘り強さの末に開かれました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ブハラのモスクとイスラームの教え

歴史の注：最初の金曜モスク

ナルシャヒーによれば、***ヒジュラ暦94年***、クタイバはブハラの町の中、偶像の神殿の跡地に***金曜モスク***を建てました。また、ブハラの人々がイスラームとムスリムの暮らしを知ることができるよう、アラブ人に彼らと共に住むよう命じました。

ナルシャヒーはさらに、初めのうち新しいムスリムたちはアラビア語を理解できなかったため、クルアーンがペルシア語で読まれ説明されたこと、また金曜礼拝への参加を促すために金銭が与えられた人もいたことを伝えています。これは、そこでのイスラームが初期にはまだ脆く、根づくまでに数世代を要したことを示しています。

伝承の等級： ナルシャヒー（ヒジュラ暦4世紀）の『ブハラ史』に伝えられています。貴重な地方史ですが、真正な伝承経路はありません。

参照：

ナルシャヒー『ブハラ史』。

モスクを建てることは大きな報いのある行いです。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第450番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ سُلَيْمَانَ، حَدَّثَنِي ابْنُ وَهْبٍ، أَخْبَرَنِي عَمْرٌو، أَنَّ بُكَيْرًا، حَدَّثَهُ أَنَّ عَاصِمَ بْنَ عُمَرَ بْنِ قَتَادَةَ حَدَّثَهُ أَنَّهُ، سَمِعَ عُبَيْدَ اللَّهِ الْخَوْلاَنِيَّ، أَنَّهُ سَمِعَ عُثْمَانَ بْنَ عَفَّانَ، يَقُولُ عِنْدَ قَوْلِ النَّاسِ فِيهِ حِينَ بَنَى مَسْجِدَ الرَّسُولِ صلى الله عليه وسلم إِنَّكُمْ أَكْثَرْتُمْ، وَإِنِّي سَمِعْتُ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ " مَنْ بَنَى مَسْجِدًا ـ قَالَ بُكَيْرٌ حَسِبْتُ أَنَّهُ قَالَ ـ يَبْتَغِي بِهِ وَجْهَ اللَّهِ، بَنَى اللَّهُ لَهُ مِثْلَهُ فِي الْجَنَّةِ ".

訳：

ウバイドゥッラー・ハウラーニーは、ウスマーン・ブン・アッファーンがアッラーの使徒 ﷺ のモスクを建て直していた際、人々が彼についてあれこれ言ったときにこう言うのを聞きました。「あなたがたは言いすぎだ。私は預言者 ﷺ がこう言われるのを聞い

た。*『アッラーのお顔（御満悦）を求めてモスクを建てる者には、アッラーが楽園にそれと同じものを建ててくださる。』*」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ヤフヤー・ブン・スライマーン ← アブドゥッラー・ブン・ワハブ ← アムル・ブン・ハーリス ← ブカイル・ブン・アブドゥッラー ← アースィム・ブン・ウマル・ブン・カターダ ← ウバイドゥッラー・ハウラーニー ← ウスマーン・ブン・アッファーン رضي الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』礼拝の書、第 450 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:450

教訓

本当の開放とは、町を征服することではなく心を開くことです。モスクと教えは、後に同じ町からイマーム・ブハーリーを生み出す種となりました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ホラズム

歴史の注：援助の要請

ヒジュラ暦93年、ホラズム（オクサス川のデルタ周辺、今日のウズベキスタンとトルクメニスタン）の王は、反乱を起こした弟に対抗するためクタイバに援助を求めました。クタイバはやって来て反乱者を鎮め、毎年の貢納を定めた和平条約をホラズムと結びました。

伝承の等級： タバリーの『歴史』などの歴史書に、ハディース学者の基準による真正な伝承経路なしで伝えられています。物語はよく知られ、歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

タバリー『諸使徒と諸王の歴史』；バラーズリー『諸国征服史』。

教訓

扉は剣によってではなく、相手が公正と保護を求めることによって開かれることもあります。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

サマルカンドとグーラクとの条約

歴史の注：シルクロードの宝石

ヒジュラ暦93年、クタイバはホラズムからすばやく、シルクロード上のソグドの主要都市***サマルカンド***へ向かいました。ソグド人とそのテュルク人の同盟者との包囲戦と戦いの後、サマルカンドの王***グーラク***は和平を求めました。

条約が結ばれました。サマルカンドは多額の年貢を納め、偶像の神殿を引き渡し、モスクの建設を認めることになりました。クタイバは町に入り、そこで礼拝して説教し、ムスリムの守備隊を残しました。

伝承の等級： タバリーの『歴史』などの歴史書に、ハディース学者の基準による真正な伝承経路なしで伝えられています。物語はよく知られ、歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

タバリー『諸使徒と諸王の歴史』；バラーズリー『諸国征服史』。

イスラームは、敵が和平に傾くなら和平を受け入れるよう命じています。

戦利品章 8:61

۞ وَإِن جَنَحُواْ لِلسَّلۡمِ فَٱجۡنَحۡ لَهَا وَتَوَكَّلۡ عَلَى ٱللَّهِۚ إِنَّهُۥ هُوَ ٱلسَّمِيعُ ٱلۡعَلِيمُ ٦١

だがかれらがもし和平に傾いたならば，あなたもそれに傾き，アッラーを信頼しなさい。本当にかれは全聴にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/8:61

教訓

和平は流血よりも良いものです。敵が和平の手を差し伸べるなら、ムスリムはアッラーに信頼してその手を取るよう命じられています。

焼かれたサマルカンドの偶像

歴史の注：信念の試練

タバリーは、サマルカンドには崇められていた偶像があったと伝えています。グーラクは、それを焼く者は滅びると警告しました。クタイバは自ら火を点けてそれを焼きました。何も起こらなかったので、ソグド人の一部がイスラームに入り始めたといわれます。灰の中から見つかった金銀の釘は非常に多かったと伝えられています。

伝承の等級： タバリーの『歴史』などの歴史書に、ハディース学者の基準による真正な伝承経路なしで伝えられています。物語はよく知られ、歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

タバリー『諸使徒と諸王の歴史』；イブン・アル＝アスィール『完史』。

これは条約の枠内で行われました。偶像の神殿の引き渡しは、サマルカンドの和平の条件の一つだったからです。それは、偶像が益も害ももたらせないことを民に示した預言者イブラーヒーム عَلَيْهِ السَّلَامُ を思い起こさせます。

教訓

アッラー以外のものへの恐れは、真理がはっきりと示されたとき崩れ去ります。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

約束を守ること

マー・ワラー・アンナフルの開放全体は、ブハラ、ホラズム、サマルカンド、その他の町との条約の上に成り立っていました。クルアーンは約束を果たすよう命じています。

蜜蜂章 16:91

وَأَوۡفُواْ بِعَهۡدِ ٱللَّهِ إِذَا عَٰهَدتُّمۡ وَلَا تَنقُضُواْ ٱلۡأَيۡمَٰنَ بَعۡدَ تَوۡكِيدِهَا وَقَدۡ جَعَلۡتُمُ ٱللَّهَ عَلَيۡكُمۡ كَفِيلًاۚ إِنَّ ٱللَّهَ يَعۡلَمُ مَا تَفۡعَلُونَ ٩١

あなたがたがアッラーと約束を結んだ時は，誓約を成し遂げなさい。誓いを確証した後，それを破ってはならない。あなたがたはアッラーを，はっきり立証者としたのである。本当にアッラーは，あなたがたの行うことを知っておられる。

訳：三田了一 — quran.com/16:91

そしてアッラーの使徒 ﷺ は、約束を破ることを偽善の印の一つとされました。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 34 番

حَدَّثَنَا قَبِيصَةُ بْنُ عُقْبَةَ، قَالَ حَدَّثَنَا سُفْيَانُ، عَنِ الأَعْمَشِ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ مُرَّةَ، عَنْ مَسْرُوقٍ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ عَمْرٍو، أَنَّ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم قَالَ " أَرْبَعٌ مَنْ كُنَّ فِيهِ كَانَ مُنَافِقًا خَالِصًا، وَمَنْ كَانَتْ فِيهِ خَصْلَةٌ مِنْهُنَّ كَانَتْ فِيهِ خَصْلَةٌ مِنَ النِّفَاقِ حَتَّى يَدَعَهَا إِذَا اؤْتُمِنَ خَانَ وَإِذَا حَدَّثَ كَذَبَ وَإِذَا عَاهَدَ غَدَرَ، وَإِذَا خَاصَمَ فَجَرَ ". تَابَعَهُ شُعْبَةُ عَنِ الأَعْمَشِ.

訳：

アブドゥッラー・ブン・アムルによると、預言者 ﷺ はこう言われました。「四つの性質があり、そのすべてを持つ者は純然たる偽善者であり、そのうち一つを持つ者は、それを捨てるまで偽善の性質を一つ持っている。預けられれば裏切り、話せば嘘をつき、***約束すれば破り***、争えば度を越す。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：カビーサ・ブン・ウクバ ← スフヤーン・サウリー ← スライマーン・アアマシュ ← アブドゥッラー・ブン・ムッラ ← マスルーク・ブン・アジュダウ ← アブドゥッラー・ブン・アムル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』信仰の書、第 34 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:34

この物差しで、私たちはニーザクの出来事（第 5 章）を量ります。一度与えられた安全保障は、誰が与えたものであれ守られなければなりません。

教訓

イスラームへの信頼は、守られた約束の上に築かれます。裏切りは、一時の得をもたらしても、イスラームの名を傷つけます。

シャーシュとフェルガナ

歴史の注：フェルガナ盆地まで

ヒジュラ暦 94 年と 95 年、クタイバはヤクサルテス川（シル川）を渡って*シャーシュ*（今日のタシケント）を開き、続いて*フェルガナ*に入り、*ホジェンド*と*カーサーン*に達しました。これらの地は、テュルクの草原と中国の国境への入口でした。

伝承の等級： タバリーの『歴史』などの歴史書に、ハディース学者の基準による真正な伝承経路なしで伝えられています。物語はよく知られ、歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

タバリー『諸使徒と諸王の歴史』；バラーズリー『諸国征服史』。

教訓

十年足らずで、広大な地がイスラームに開かれました。しかし、誠実さと公正さを欠いた軍事力は長続きしません。残るのは、その後に植えられた知識と信仰です。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

カシュガルまで、そして中国への使節

典拠の注：伝説の混じった話

タバリーは、ヒジュラ暦96年にクタイバが*カシュガル*まで進み、使者*フバイラ・ブン・ムシャムラジュ・キラービー*を中国の皇帝のもとへ送ったと伝えています。その話では、クタイバは中国の土を踏むまで戻らないと誓ったため、皇帝は踏むための土、金貨、そして服従の印として数人の王子を送り、誓いは果たされたとみなされたといいます。

現代の歴史家は、この話の多くの細部を疑っています。中国の記録は確かにその頃アラブの使節が来たことを記していますが、中国がクタイバに服従したとは述べていません。カシュガルへの進軍そのものも議論があり、征服ではなく襲撃か使節にすぎなかったのかもしれません。

伝承の等級： 弱く、伝説が混じっています。細部は確かではありません。

参照：

タバリー『諸使徒と諸王の歴史』；アラブ・中国関係に関する現代の歴史研究。

教訓

誇らしい話が必ずしも真実とは限りません。私たちはそれを正直に伝え、確かでないことを明らかにします。

フェルガナでの反乱と死

歴史の注：苦い結末

ハッジャージュはヒジュラ暦95年に亡くなり、96年にはカリフ、ワリード・ブン・アブドゥルマリクも亡くなりました。クタイバは、後継の権利を弟の*スライマーン・ブン・アブドゥルマリク*から移そうとするワリードの試みを支持していました。スライマーンがカリフになると、クタイバは自分の運命を恐れ、カリフへの反対を表明しました。

しかし、疲れ果て部族ごとに分裂していた彼自身の軍は、彼に従うことを拒みました。*ワキーウ・ブン・アビー・スード*率いるタミーム族の部隊が彼に反旗を翻し、クタイバはヒジュラ暦96年ズー・アル＝ヒッジャ月（西暦715年）、フェルガナで家族の数人とともに、およそ48歳で殺されました。

伝承の等級： タバリーの『歴史』などの歴史書に、ハディース学者の基準による真正な伝承経路なしで伝えられています。物語はよく知られ、歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

タバリー『諸使徒と諸王の歴史』；イブン・アル＝アスィール『完史』；ザハビー『高貴な人々の伝記』。

アッラーの使徒 ﷺ は、共同体を離れ、為政者に背くことを戒められました。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第7054番

حَدَّثَنَا أَبُو النُّعْمَانِ، حَدَّثَنَا حَمَّادُ بْنُ زَيْدٍ، عَنِ الْجَعْدِ أَبِي عُثْمَانَ، حَدَّثَنِي أَبُو رَجَاءٍ الْعُطَارِدِيُّ، قَالَ سَمِعْتُ ابْنَ عَبَّاسٍ ـ رضى الله عنهما ـ عَنِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم قَالَ " مَنْ رَأَى مِنْ أَمِيرِهِ شَيْئًا يَكْرَهُهُ فَلْيَصْبِرْ عَلَيْهِ، فَإِنَّهُ مَنْ فَارَقَ الْجَمَاعَةَ شِبْرًا فَمَاتَ، إِلاَّ مَاتَ مِيتَةً جَاهِلِيَّةً ".

訳：

イブン・アッバースによると、預言者 ﷺ はこう言われました。*「自分の指導者に嫌なことを見た者は、それに耐えなさい。共同体から一尺（一握り）でも離れて死ぬ者は、ジャーヒリーヤの死を死ぬのである。」*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブー・ヌウマーン・ムハンマド・ブン・ファドル ← ハンマード・ブン・ザイド ← ジャアド・アブー・ウスマーン ← アブー・ラジャー・ウターリディー ← アブドゥッラー・ブン・アッバース رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』試練の書、第 7054 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:7054

クタイバの物語は、同じカリフの決定を忍耐をもって受け入れたムハンマド・ブン・カースィム（第 17 巻）の物語とは異なります。どちらも悲劇に終わりましたが、二人の選択は違っていました。

教訓

過去の成功が良い最期を保証するわけではありません。恐れと権力を守ろうとする欲望は、英雄をも試練（フィトナ）へと追いやることがあります。

ウマル・ブン・アブドゥルアズィーズへのサマルカンドの訴え

歴史の注：真理の側に立った裁判官

クタイバの死から数年後、*ウマル・ブン・アブドゥルアズィーズ*がカリフであったとき（ヒジュラ暦 99–101 年）、サマルカンドの人々は、クタイバが事前の通告なしに策略で町に入ったと訴えました。ウマルは総督スライマーン・ブン・アビー・サリーに、訴えを審理する裁判官を任命するよう命じました。

バラーズリーによれば、裁判官*ジュマイウ・ブン・ハーディル・バージー*は、アラブ軍はサマルカンドから出て野営地に戻り、その後、いかなる行動の前にも公然と通告しなければならないと判決しました。しかしサマルカンドの人々自身はそれを求めないことを選びました。彼らは平和を好み、現状に満足したのです。

軍全体が実際に町を去り、サマルカンドの人々が感嘆して一斉にイスラームに入ったという有名な話は、初期の典拠には見られない後代の付け加えです。

伝承の等級： 訴えと裁判官の判決はバラーズリー（ヒジュラ暦 3 世紀）が伝えています。より劇的な有名な話は確かではありません。

参照：

バラーズリー『諸国征服史』；タバリー『諸使徒と諸王の歴史』。

この判決は、相手方に対してさえ公正であれというアッラーの命令にかなっています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

食卓章 5:8

يَٰٓأَيُّهَا ٱلَّذِينَ ءَامَنُواْ كُونُواْ قَوَّٰمِينَ لِلَّهِ شُهَدَآءَ بِٱلۡقِسۡطِۖ وَلَا يَجۡرِمَنَّكُمۡ شَنَـَٔانُ قَوۡمٍ عَلَىٰٓ أَلَّا تَعۡدِلُواْۚ ٱعۡدِلُواْ هُوَ أَقۡرَبُ لِلتَّقۡوَىٰۖ وَٱتَّقُواْ ٱللَّهَۚ إِنَّ ٱللَّهَ خَبِيرُۢ بِمَا تَعۡمَلُونَ ٨

あなたがた信仰する者よ，アッラーのために堅固に立つ者として，正義に基いた証人であれ。人びとを憎悪するあまり，あなたがたは（仲間にも敵にも）正義に反してはならない。正義を行いなさい。それは最も篤信に近いのである。アッラーを畏れなさい。アッラーはあなたがたの行うことを熟知なされる。

訳：三田了一 — quran.com/5:8

そしてアッラーの使徒 ﷺ は、裁きにおいて公正な人々に高い位を約束されました。

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 1827 番

حَدَّثَنَا أَبُو بَكْرِ بْنُ أَبِي شَيْبَةَ، وَزُهَيْرُ بْنُ حَرْبٍ، وَابْنُ، نُمَيْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا سُفْيَانُ، بْنُ عُيَيْنَةَ عَنْ عَمْرٍو، - يَعْنِي ابْنَ دِينَارٍ - عَنْ عَمْرِو بْنِ أَوْسٍ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ عَمْرٍو، قَالَ ابْنُ نُمَيْرٍ وَأَبُو بَكْرٍ يَبْلُغُ بِهِ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم وَفِي حَدِيثِ زُهَيْرٍ قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم " إِنَّ الْمُقْسِطِينَ عِنْدَ اللَّهِ عَلَى مَنَابِرَ مِنْ نُورٍ عَنْ يَمِينِ الرَّحْمَنِ عَزَّ وَجَلَّ وَكِلْتَا يَدَيْهِ يَمِينٌ الَّذِينَ يَعْدِلُونَ فِي حُكْمِهِمْ وَأَهْلِيهِمْ وَمَا وَلُوا " .

訳：

アブドゥッラー・ブン・アムルによると、アッラーの使徒 ﷺ はこう言われました。

「まことに公正な人々は、アッラーの御許で、偉大で威厳ある慈悲深きお方の右側にある光の説教壇の上にいる――そのお方の両手はともに右である――彼らは裁きにおいて、家族に対して、そして任されたことにおいて公正であった人々である。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：アブー・バクル・ブン・アビー・シャイバ、ズハイル・ブン・ハルブ、イブン・ヌマイル ← スフヤーン・ブン・ウヤイナ ← アムル・

ブン・ディーナール ← アムル・ブン・アウス ← アブドゥッラー・ブン・アムル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』統治の書、第 1827 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に次いで最も真正なハディース集『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠： https://sunnah.com/muslim:1827

教訓

イスラームの偉大さは、開かれた地の広さにではなく、為政者が自らを裁き、自軍に対してさえ真理の側に立とうとする姿勢にあります。

遺産——ブハーリーとティルミズィーの地

クタイバの時代のマー・ワラー・アンナフルの開放は、すぐにその住民をムスリムにしたわけではありません。イスラームはモスク、商人、学者を通して、世代を重ねてゆっくりと根づきました。しかし二世紀足らずのうちに、この地域はイスラーム世界最大の学問の中心の一つとなりました。

人物	出身の町
イマーム・ムハンマド・ブン・イスマーイール・ブハーリー（256 年没）	ブハラ——『サヒーフ・ブハーリー』の編者
イマーム・ムハンマド・ブン・イーサー・ティルミズィー（279 年没）	ティルミズ——『ティルミズィーのスナン』の編者
イマーム・ダーリミー（255 年没）	サマルカンド——『ダーリミーのスナン』の編者
イマーム・アブー・マンスール・マートゥリーディー（333 年没）	サマルカンド——スンナ派信条の学者
イブン・スィーナー（428 年没）	ブハラ近郊——医学者

この電子書籍のハディースの多くも『サヒーフ・ブハーリー』から取られています。クタイバが金曜モスクを建てた町ブハラの子の著作です。

クタイバの資質と人柄

資質	彼の物語からの例
勇敢で断固としている	オクサス川の向こうへの毎年の遠征
長い努力に粘り強い	四年間のブハラ遠征
イスラームを広めた人	ブハラとサマルカンドのモスク

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

資質	彼の物語からの例
戦略家	和平条約の活用
いくつかの行いを批判された	ニーザクの出来事
苦い結末	反乱を起こし、フェルガナで殺された

教訓

アッラーは、不完全な人間の努力を大きな善への道とされることがあります。アッラーの御許での私たちの価値を決めるのは、誠実さと最期です。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

クタイバの物語の典拠

この表は各物語の典拠と等級をまとめたもので、読者が真正なものと単に有名なものとを区別できるようにしています。

物語	典拠	等級
敬虔さによる尊さ	部屋章 49:13	クルアーン
公正な指導者はアッラーの陰に	『サヒーフ・ブハーリー』1423	サヒーフ
戦いの前の呼びかけ	『サヒーフ・ブハーリー』2942	サヒーフ
ニーザクの出来事	タバリー	歴史
ブハラの開放（90 年）	タバリー；ナルシャヒー	歴史
ブハラのモスク（94 年）	ナルシャヒー	地方史
モスクを建てる者	『サヒーフ・ブハーリー』450	サヒーフ
サマルカンドの条約（93 年）	タバリー；バラーズリー	歴史
焼かれたサマルカンドの偶像	タバリー	歴史
偽善者の印：約束を破る	『サヒーフ・ブハーリー』34	サヒーフ
中国への使節	タバリー	弱い、伝説が混じる
反乱と死（96 年）	タバリー	歴史
共同体から離れる者	『サヒーフ・ブハーリー』7054	サヒーフ
ウマル 2 世へのサマルカンドの訴え	バラーズリー	歴史；有名な話は確かではない
公正な人々は光の説教壇の上に	『サヒーフ・ムスリム』1827	サヒーフ

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

人物・場所・年表

人物	役割
ハッジャージュ・ブン・ユースフ	クタイバを任命した東方の総督
ワリード・ブン・アブドゥルマリク	征服当時のウマイヤ朝カリフ
ニーザク・タルハーン	反乱を起こしたバードギースの支配者（91 年）
トゥグシャーダ	ムスリムの保護下のブハラ王
グーラク	和平を結んだサマルカンド王（93 年）
スライマーン・ブン・アブドゥルマリク	クタイバが背いたカリフ
ワキーウ・ブン・アビー・スード	彼に反旗を翻したタミーム族の長
ウマル・ブン・アブドゥルアズィーズ	サマルカンドの訴えを聞いたカリフ

場所	出来事
メルヴ	ホラーサーンの政庁
トハーリスターンとバルフ	最初の遠征（86 年）
パイカンドとブハラ	開放（87–90 年）；金曜モスク（94 年）
ホラズム	和平条約（93 年）
サマルカンド	グーラクとの条約（93 年）
シャーシュとフェルガナ	東方への遠征（94–95 年）
カシュガル	議論のある進軍（96 年）

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

年（ヒジュラ暦）	出来事
49 年	クタイバの誕生
86 年	ホラーサーン総督に任命
87〜90 年	パイカンドとブハラの遠征
91 年	ニーザクの反乱
93 年	ホラズムとサマルカンド
94 年	ブハラのモスク；シャーシュ
95 年	フェルガナ；ハッジャージュ死去
96 年	ワリード死去；クタイバの反乱と死
99〜101 年	ウマル・ブン・アブドゥルアズィーズへのサマルカンドの訴え

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

クタイバ・ブン・ムスリムについてのよくある質問

この章では、クタイバ・ブン・ムスリムについてよく尋ねられる質問に答えます。答えは簡潔にし、詳細はこれまでの章にあります。

1. クタイバ・ブン・ムスリムとは誰ですか。

バーヒラ族出身のウマイヤ朝の指揮官で、中央アジアを開いたホラーサーン総督（ヒジュラ暦 86–96 年）です。

2. マー・ワラー・アンナフルとはどういう意味ですか。

「川の向こうの地」、つまりオクサス川（アム川）の向こうの地域です。

3. 誰が彼を任命しましたか。

ウマイヤ朝の東方諸州の総督ハッジャージュ・ブン・ユースフです。

4. ブハラはいつ開かれましたか。

数年にわたる遠征の後、ヒジュラ暦 90 年です。

5. ブハラの金曜モスクを建てたのは誰ですか。

ナルシャヒーによれば、ヒジュラ暦 94 年にクタイバが建てました。

6. サマルカンドはどのように開かれましたか。

包囲の後、ヒジュラ暦 93 年にグーラク王と結んだ和平条約によってです。

7. ニーザクの出来事とは何ですか。

ニーザクは反乱を起こし、安全保障を与えられたと伝えられながら処刑されました。この行いは批判されました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

8. 中国への使節の話は本当ですか。

伝説が混じっており、多くの細部は確かではありません。

9. クタイバはどのように亡くなりましたか。

カリフ、スライマーンに背き、ヒジュラ暦 96 年にフェルガナで自らの兵に殺されました。

10. サマルカンドの人々の訴えとは何でしたか。

通告なしに町に入られたとウマル・ブン・アブドゥルアズィーズに訴え、裁判官が彼らに有利な判決を下しました。

11. この地域からどのような大学者が出ましたか。

イマーム・ブハーリー、イマーム・ティルミズィー、イマーム・ダーリミー、イマーム・マートゥリーディーなどです。

12. 彼の物語の最大の教訓は何ですか。

勇気と大きな努力は、公正さ、約束を守ること、服従によって導かれなければなりません。大切なのは最期だからです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

教訓と結び

クタイバ・ブン・ムスリムの物語は、中央アジアの門をイスラームに開き、シルクロードの町々にモスクを建てながらも、過ちを犯し悲劇に終わった指揮官の物語です。そして彼の後、一人の公正なカリフが、イスラームの公正さはどの指揮官の勝利よりも偉大であることを示しました。

教訓	クタイバの物語から
敬虔さによる尊さ	部屋章 49:13；バーヒラ族
指導という預かりもの	「七種の人々……公正な指導者」
戦いの前の呼びかけ	「彼らをイスラームへ招きなさい……」
モスクと学問を築く	ブハラのモスク；『サヒーフ・ブハーリー』450
和平を受け入れる	戦利品章 8:61；サマルカンド
約束を守る	蜜蜂章 16:91；『サヒーフ・ブハーリー』34
共同体を離れない	『サヒーフ・ブハーリー』7054；フェルガナ
自らに対してさえ公正であること	食卓章 5:8；サマルカンドの訴え

クタイバの物語から良いもの——その勇気、粘り強さ、イスラームを広めることへの愛——を受け取り、その過ちから教訓を学ぶことができますように。

インシャーアッラー、『イスラームの英雄』シリーズは、イスラームのもう一人の英雄の物語へと続きます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

参考文献

クルアーンと注釈

聖クルアーン、ウスマーン体の本文と三田了一訳。https://quran.com

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの注釈』（食卓章 5:8；戦利品章 8:61；蜜蜂章 16:91；部屋章 49:13）。

ハディース

『サヒーフ・ブハーリー』34、450、1423、2942、7054。https://sunnah.com/bukhari

『サヒーフ・ムスリム』1827。https://sunnah.com/muslim

イブン・ハジャル『ファトフ・アル＝バーリー』；ナワウィー『サヒーフ・ムスリム注釈』。

歴史書と伝記

タバリー『諸使徒と諸王の歴史』（ヒジュラ暦 86–96 年の出来事）。

バラーズリー『諸国征服史』（ホラーサーンとマー・ワラー・アンナフルの章）。

ナルシャヒー『ブハラ史』。

イブン・アル＝アスィール『完史』。

ザハビー『高貴な人々の伝記』（クタイバ・ブン・ムスリムの伝記）。

Wikipedia「Qutayba ibn Muslim」。https://en.wikipedia.org/wiki/Qutayba_ibn_Muslim

QURANSCIENCE.MY の関連シリーズ

『イスラームの英雄』第 1 巻：ハムザ・ブン・アブドゥルムッタリブから第 17 巻：ムハンマド・ブン・カースィムまで。https://quranscience.my/#pahlawan

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

支援と寄付

この電子書籍はムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売してはなりません**。研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営費、そして次の電子書籍の発行のためのご寄付を心から歓迎します – ただし、**義務ではありません**。アッラーがすべてのご寄付を継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。『本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。』

訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「施しは財産を減らさない。人を赦すしもべに、アッラーは尊厳しか増し加えない。アッラーのためにへりくだる者を、アッラーは必ず高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・作法の書、赦しと謙虚さを勧めることの章、ハディース第 2588 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:2588

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيدٍ - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← ア

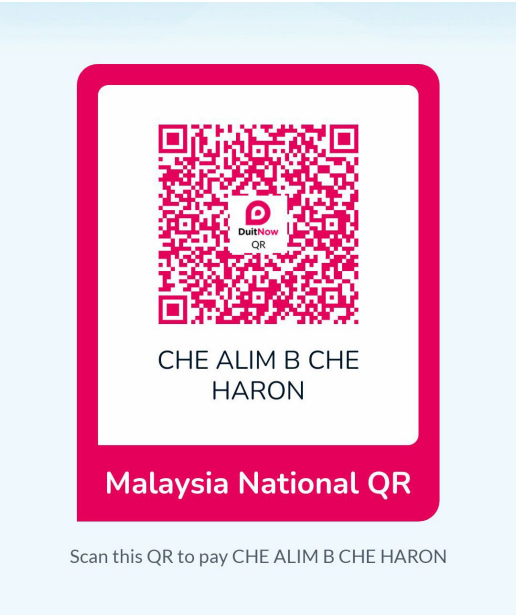
ル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書、死後に人に届く報奨の章、ハディース第 1631 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:1631

ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（多大なる善い報いがありますように）



上の QR コード（DuitNow）を読み取って寄付できます。



海外からのご寄付：寄付するボタンをクリックするか、こちらへ paypal.me/quranscience